

## 第4回 福山市路上喫煙防止対策協議会 意見概要

### 1. 日時等

日時：2022年（令和4年）1月27日（木）10:00～12:00

場所：福山市役所本庁舎東棟3階 306会議室

### 2. 出席者

委員：（会場）渡邊一成 会長，杉原成美 副会長，千玉敏之 委員

（リモート）入江孝子委員，上田理那 委員，桐畑修一 委員（代理出席），

久保義人 委員，栗田慶子 委員，清水直樹 委員，田中知徳 委員，

三上喜久美 委員，宮田明 委員

（12名）

事務局：環境総務課長，健康推進課長

### 3. 欠席者

大原博 委員

### 4. 要旨

○会議は，公開で行われた。

○委員13名中12名の出席があった。

### 5. 第3回福山市路上喫煙防止対策協議会の協議事項の確認

### 6. 報告事項

○福山城築城400年カウントダウン300日前関連イベント

福山駅周辺の清掃活動について

【資料1】

○路上喫煙・ポイ捨て防止効果を検証する実証実験について

【資料2】

○条例の改正について

【資料3】

・仮設喫煙所での実証実験の効果について，事務局は総論としてどのように捉えているか。

→あくまでも中間的な報告である。喫煙者・非喫煙者のそれぞれの意見が見えてきた。喫煙を制限するだけでは，路上喫煙防止対策の実効性は担保できないと思っている。アンケート結果から，仮設喫煙所は，非喫煙者においても概ね理解をいただいていると認識している。アンケートやポイ捨て調査等の結果を踏まえた上で，喫煙所を増設していく方向で検討していきたい。

・パーテーション型の喫煙所は，受動喫煙に対して一定の効果があると理解して良いか。

→厚生労働省の基準に基づく構造となっているが，浮遊粉じん濃度の測定結果からも，受動喫煙の防止効果は，概ね良好だと認識している。密閉型の喫煙所は受動喫煙防止には効果があることから，パーテーション型にこだわらず，両方で検討していきたい。

- ・喫煙所の壁について、厚生労働省は透明のものを推奨しているのか。  
→色や透明度の指定はない。防犯対策等に対する意見があり、外からでも中の状況が見えるようにしている。
- ・アンケートの中には、喫煙を奨励することになるのではないかという意見があった。医師会からは、喫煙所を設置すると青少年に悪い影響（喫煙の助長）を与えるため、喫煙所の設置は好ましくないとの意見がある。外から見えないようなものが良いと考えているので、検討して欲しい。

## 7. 協議事項

### (1) 美化推進重点区域・路上喫煙制限区域の指定等について 【資料4】

- ・福山駅前広場と福山駅北口広場は、市の土地とJRの土地と両方で構成されている。これらは道路には該当しないので、市長が必要と認める場所として、追加して指定している。まずは、福山駅周辺で集中的に取り組んでいくということである。

### (2) 路上喫煙・ポイ捨て防止に向けた今後の取組について 【資料5-1～資料5-5】

- ・喫煙所や公衆トイレでマナー意識の向上を図るようなアナウンスを流せば、効果的ではないか。  
→世界バラ会議の中でも、公衆トイレのあり方を検討しているので、効果的な方法について話をしていく。
- ・歩きたばこは少なくなったが、清掃活動に参加すると、たばこのポイ捨てが多くあった。周辺住民の喫煙者の意識も変えていかなければならない。
- ・飲食組合としては、(屋外へ設置された灰皿の撤去に関して) 協力はするが、「気を付けてね」との声かけ程度に留めて欲しいと思っている。  
→飲食店の方には、施設内の禁煙について、法律に基づき対応していただいている。屋外への灰皿設置に関しては、外の灰皿からの煙によって受動喫煙が起きるとい苦情が多く、個別にお願いをしている。撤去してくださる飲食店も多くあるので、引き続き、受動喫煙への配慮をお願いしたい。
- ・資料5-3のお願い文書について、通行人への受動喫煙について対応してもらえた。ぜひ進めて欲しい。  
→喫煙所の本設に向けて、来年度予算として要求しており、公の喫煙所を設置できるよう取り組んでいる。飲食店の近く等に多くの喫煙場所が必要であるとの意見をいただいております、全て叶えるのは難しいが、行政としての役割は果たしていきたい。
- ・条例第5条第3項に、空き缶等及びたばこの吸い殻等の散乱防止に必要な措置を講ずるよう努めるものとするという規定がある。たばこに関しては、散乱防止のための必要な措置は灰皿の設置であると考えられる。条文の内容と通知文の文言に齟齬があるのではないか。具体的に受動喫煙が生じる状況がどのようなものか曖昧である。単純に灰皿を撤去するという事となれば、喫煙所に人が集まり、煙が増えるというような状況になりかねないのではないか。

- ・JTとしては、煙は大気中ですぐに希釈されるので、屋外での受動喫煙のリスクは非常に少ないと考えている。一方、煙による迷惑というものは、多分に存在すると考えている。JTでは、屋外の喫煙所に対する分煙コンサルティングを行っている。喫煙場所を見せないようにすることや人通りの多い場所から離したり、分散させて、1つの場所に集まらないようにすることを推奨している。
- ・(前述の)屋外では受動喫煙のリスクがないとする意見は誤りである。データも出ている。たばこの煙が通行人にかかるのは当然生じうる。もしどうしても灰皿を撤去できないのであれば、煙が路上に流れないように、上にフードを付けることや、それに対して市が助成する等の対応が必要ではないか。
- ・「福山市子ども及び妊婦を受動喫煙から守る条例」に基づき、受動喫煙防止について、ふくやま健康・食育市民会議でも様々な活動を行い、推進している。灰皿の撤去については、「福山市空き缶等の散乱防止等及び環境美化に関する条例」だけではなく、多くの視点からの提案、お願いであると受け止めて欲しい。具体的な推進方法については、ふくやま健康・食育市民会議に持ち帰り、協議の上、改めて各団体の方に、お願いをしていくという形を取らせてもらいたい。
  - 受動喫煙防止の観点から、今までもふくやま健康・食育市民会議で、多くの関係団体と推進してきたところ。具体的な方法についても協議いただけたらと思う。
- ・今後、様々なイベントが福山市で実施される。国際会議が開かれるということ考えた時に、啓発看板に関しては英語、中国語、韓国語の表記があるが、路面標示についても多言語化した方がよいのではないかと。トイレ等でアナウンスを流すことに関しても、多言語化を併せて行っていくのはどうか。
- ・啓発看板にはQRコードを付けるとのことであり、読み込むと多言語に対応する等、デジタル技術を活用した取組を実施してはどうか。
- ・路上喫煙禁止における対策として、エリアに見合う数の喫煙所の確保が必要である。資料5-3のお願い文書に関して、公設喫煙所の計画がある程度明確になった上で配付するのが、市民にとってわかりやすい周知方法になるのではないかと。
  - 公設の喫煙所は必要と考えているが、数には予算の制限もある。協議会では、各団体でできることや連携できることは何なのかを考え、工夫して取り組めるよう協議会で議論していきたい。周知啓発も必要だが、全ての計画が確定してから発信するのでは遅いと思う。子どもや妊婦に対して配慮するという気持ちを市民に持ってもらうと、福山市がより良くなっていくのではないかと。外国の方、旅行者やビジネスマンにも、より良い福山市だと思ってもらえるよう周知を行っていくべきだと考えている。商店街の空き地や空き店舗を活用することも一つの手法ではないかと思っている。行政が補助しないといけないという部分があれば検討していく。
- ・広報について、市民が目にする機会の多い民間の媒体と連携した方が伝わりやすいのではないかと。
- ・仮設喫煙所において、事件性のある報告はされていないか。何かあったときに、交番へ通報されるようなシステムが取り入れられているか。
  - 事件等については聞いていない。仮設喫煙所の設置の際に、伏見町の駅前交番に定期的な巡回をお願いしている。今後も、引き続きお願いしようと考えている。
- ・エリアの価値を向上していくのは、行政だけでは無理で、官民が連携して取り組む必要がある。民間の情報誌、商店街や飲食店の中でのPRなど、それぞれの団体ができることから着実に進

めていくことが大事ではないかと思う。JTにも協力いただけるところには、協力して欲しい。民間と民間での調整は難しいと思われるので、行政に入ってもらい、皆で盛り上げていければ良いのではないかと。より良い街にしてくというポジティブな考え方で取組を行って欲しい。

- ・資料の5-3についてもポジティブな文章にできないか。
- ・福山市を良くする、きれいな街にするということを考えれば、妥協点が見えてくるのではないかと。
- ・福山市きれいなまちづくり推進協議会について、構成関係団体の中に福山東警察署が入っており、一般市民としては、安心できるので良い。
- ・築城400年カウントダウン関連イベントについて、1回目と比較し、2回目の参加者が少なくなった。協議会委員の方は参加して欲しい。
- ・小中学生に対して、絵画やスローガン、キャッチコピーなどを募集し、イベント時に優秀な作品を表彰するというようなことを教育委員会と連携して行うのはどうか。すばらしい清掃活動を行っているのが、更により良いものに繋がって欲しい。  
→周辺の小学校には声掛けをしている。引き続き声掛けを行う。
- ・清掃活動に参加された方々に対して、市の施設の見学等の特典を付けると、参加しようという気持ちに繋がっていくのではないかと。  
→あくまでもボランティアの部分があるが、関連施設で対応できるか、文化振興課と話をしている。
- ・積極的、前向きなご意見ご要望、ご提案等があれば、事務局に話をして欲しい。価値の高い福山駅前を作っていければ良いと思う。  
→それぞれの団体でできること、官民・民民での連携が必要なものについて、引き続き、お力添えをいただきたい。ご意見ご要望、ご提案等については、気軽に電話やメール等で連絡して欲しい。